

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 兵庫県播磨町
 本事業の担当部局名 教育委員会 地域学校教育課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業			
区分	重点メニュー			
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援			
個別事業名	思春期ふれあい体験学習事業(赤ちゃん先生プロジェクト)	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日	事業開始年度 令和3年度
総事業費(A)(円)	158,400	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円) 158,400
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	158,400			
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 令和6年度末に策定予定の「こども計画」アンケートのうち、若者へのアンケート結果より、結婚について「結婚したくない」「分からない」が約半数を占めており、若い世代から自身のライフデザインを考える中で、結婚や妊娠について自分で選択できる力を育むことが必要である。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業を通して、一人ひとりが命の偉大さを感じ、自己肯定感を高め、いじめや自殺等の撲滅につなげる。対象を中学3年生にすることで、出産や育児を含めた自己のキャリアデザインを確立するための準備につなげていきたい。</p>			
個別事業の内容	番号	項目	内容	
	1	思春期ふれあい体験学習事業(赤ちゃん先生プロジェクト)の開催	NPO法人ママの働き方応援隊より播磨町立中学校へ、赤ちゃんとお母さんを育てる母親を複数名派遣してもらい、3年生を対象に、各クラス2時間程度で実際に赤ちゃんに触れ合う機会をもつ。また、子育てにおける体験談等を直に聞く機会もその中でもうけ、命の尊さや子育てのやりがい、苦労等を学ぶ。	
	2			
	3			
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・本事業の成果として、「将来子どもが生まれてからの苦労や感動を具体的にイメージできた。 ・この体験を将来の自身の子育てに活かしていきたい」「出産の苦労や大変さを肌で感じることができ、自分の両親や周りの人に感謝し、これからは頑張りたい。」等の感想が多くの子供から挙がってきている。 ・課題としては、各校の行事日程等の関係で、本事業を行うタイミングがインフルエンザなどの感染症が危惧されやすい時期になりがちのため、特に配慮が必要である。</p>				

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		人	1.78 (R7)	1.46 (R2)
	年少人口(0~14歳人口)の割合		%	14.5 (R7)	14.1 (R3)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.46 (R2)	
	婚姻件数		件	135 (R4)	
	婚姻率			3.88	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	参加率(参加人数/参加予定人数)	%	85	90
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	85	91
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	乳幼児に対する親しみが増えた生徒の割合	%	85	98
	⑤	命の尊さが芽生えた生徒の割合	%	85	97
⑥					
⑦					
⑧					